

## 2020 年度 経営学部 第 3 年次編入学試験【出題の意図】

### 〔経営学〕

それぞれの問題は、経営学の理論や概念に関する基本的な知識を問う問題とその理論や概念の応用的理解を問う問題の 2 つに分かれている。

基本的な知識を問う問題に関しては、それぞれ限定された合理性、リーダーシップのコンティンジェンシー理論の特定の理論、事前と事後の調整について具体例の適切性も含め、正しい理解ができているかについて評価する問題である。一方、応用的理解を問う問題では、表層的な理論の理解だけではなく、実践的な意義あるいは理論のもつ限界や問題点を含めて理解できているかを問うている。

### 〔会計学〕

1. 簿記の仕訳の問題
2. 精算表の構造を理解しているかを問う
3. 総合原価計算の問題で、部品の投入が、始点で一括投入される部品と、加工割合と同一に投入される部品がある問題
4. 原価計算基準の理念を理解しているかを問う問題

### 〔マーケティング論〕

3 年次編入学試験では、マーケティング論の基礎を理解しているかを問う問題であることが求められている。そこで、以下のように、マーケティング論における基礎的な知識を問う 3 問を設定している。

1. マーケティングの基礎的知識として必ず講義やテキストで学習する「事業領域の定義とマーケティング戦略の関係」「製品ライフサイクル」「流通の機能」について理解しているかを問う。
2. 限られた資源で効率的に需要を満たす／需要を創造するための基礎的な考え方である市場細分化について、実際の経営活動と結びつけながら理解しているかを問う。
3. マーケティングの講義やテキストで必ず学習する、コモディティ化が進む市場における持続的成長のための一つの方法であるブランドやブランディングについて理解しているかを問う。

### 〔経済学〕

1. 最適消費計画に関する線形計画問題です。
2. 各プレイヤーの戦略が 2 つしかないシンプルな標準型・展開型ゲームのナッシュ均衡・部分ゲーム完全均衡を求める問題です。
3. 需要関数と消費者余剰の関係性を正しく理解できているかを問う問題です。
4. 期待効用とリスクプレミアムに関連した問題です。

[数学]

1. 行列式及び線形方程式の理解を確認する。(岡田 2 章の内容)
2. 関数の微分と積分の理解を確認する。(岡田 1 章・7 章の内容)
3. 最適化問題の解法を理解する。(岡田 3 章の内容)

[小論文]

経営学では、同じ現象に対して複数の異なる見解（学説または理論）が存在することがあります。様々な見解が存在する理由は、分析者がどの利害関係者の視点に立っているか、そして、企業がどのような経済環境に直面しているかに強く依存しているからです。本問では、企業のグローバル化が進む中で、企業の持続的な発展を目指して、経営者への規律づけ（コーポレートガバナンス）を特徴づける「経営者（役員）報酬制度」をどう設計するべきかという題材について、著者の見解を理解した上で解答者自身の見解を論理的にまとめることができるかどうかを問うたものです。